

会 議 録 (概要)

会議の名称	第2回 佐渡市新たな学校教育環境整備検討懇談会
開催日時	令和2年10月22日(木) 午前9時30分開会 午前11時52分閉会
場所	両津地区公民館 3階 会議室
議題	(1) 保護者アンケートの結果について (2) 佐渡市新たな学校教育環境整備計画について (3) 地域座談会について
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、 その理由)	非公開 佐渡市附属機関等の会議に関する要綱第3条第3号に該当するため。
出席者	参加者 学識経験者 1名 教育関係者 3名 保護者代表 3名 地域関係者 1名  事務局 佐渡市教育委員会 教育長 渡邊 尚人 教育総務課 課長 坂田 和三 課長補佐 高野 久之 総務係 係長 飯田 誠 学校経営指導員 本間 健人 調査員 中川 啓一
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	なし
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
・高野課長補佐	（ 会議を非公開（佐渡市附属機関等の会議に関する要綱第3条第3号）とする説明）
・渡邊教育長	（ 挨拶 ）
・中川調査員	（ 議題1 「保護者アンケートの結果について」資料を使って説明 ）
・H氏	・提出が任意であることを承知しているが、回収率のバラつきが気になるため、もし学校現場で親御さんの関心などについて分かったら教えてほしい。
・C氏	・学校現場としては、教育委員会からの指示に従い、配布と回収を進めたという認識である。
・坂田課長	・教育委員会としては、回収期限が過ぎたものも集計に反映している。
・G氏	・アンケート結果を各家庭に配布する予定か。
・渡邊教育長	・この後の説明資料「佐渡市新たな学校教育環境整備計画【検討資料】」に結果の概要を載せている。まず全体に対し概要をお示しし、その後、個々の学校に入り次第、その分の詳細についてお示ししたい。
・渡邊教育長	・回収率の内訳として、高い方から幼稚園・保育園、小学校、中学校の順で関心の違いが表れているが、中学校で40%台をキープ出来たことは有難いと思っている。
・中川調査員	（ 議題2 「佐渡市新たな学校教育環境整備計画について」資料を使って説明 ）
・H氏	・計画の決定権は、議会や市長ではなく教育委員会に一任されているのか。
・渡邊教育長	・基本的に一任されている。
・C氏	・小中連携校と義務教育学校との違い、義務教育学校のメリットは何か。
・本間学校経営指導員	・学校間連携（チェーンスクール）の枠組みについては、県から認めてもらうことが前提であり、また文科省の通知に義務教育学校が統合目的の制度ではないことが示され、課題があることも事実である。
・B氏	・地理的条件で統合が困難な小中連携校があるため、義務教育学校による小中一貫教育は有効と考える。
・渡邊教育長	・小中連携校では、小中学校ともに校長がいて、校舎が分散型と一体型があるが、小中学校が相互に乗り入れるところまで至っていない。義務教育

	<p>学校だと1人の校長のもと、教員の乗り入れや教育財産の共有が図られ、教育カリキュラムも6・3制から4・3・2などに設定が出来る。</p>
・ C氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小中連携校のままだと難しいが、義務教育学校の枠組みの中で、小中両方の免許を持っていれば、乗り入れが図られることを理解した。</li> </ul>
・ A氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校の免許がなくても、中学校数学の教員が小学校の算数を持つなど、弾力的に乗り入れが可能となっている。</li> </ul>
・ 渡邊教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後さらに教科担任制が進めば、非常にやり易くなると思う。</li> </ul>
・ G氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 義務教育学校は、児童生徒数が少ない学校なら設置が可能か。</li> </ul>
・ 渡邊教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地理的条件により統合が困難と思われる小中連携校を中心に考えている。</li> </ul>
・ F氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これからの展望を考えると、小中両方の免許を持った教員が、佐渡に沢山いれば良いと思うが、今の採用の枠組みだと増えないと思うので、もっと佐渡に若い先生を増やすために、今後、特色ある学校づくりを進めることについて情報提供するなどの工夫が必要ではないか。</li> </ul>
・ 渡邊教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県の採用には全県枠と佐渡枠があり、全県枠でも佐渡に来れるので、積極的に挑んでほしいと思う。それから佐渡市から全県に公募しているが、数が少ないため、来年度から新潟市とも人事交流の道を開いていきたいと思っている。</li> </ul>
・ D氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新たな学校再編の方針に掲げている学校規模と配置、それから地理的条件等による再編が困難な学校への新たな対策との兼ね合いを、計画の中でどのように進めていくのか詳細が明らかではなく、また学校間連携では教員配置やカリキュラムなどの調整が容易ではなく、一定の準備期間が必要という印象を持った。</li> </ul>
・ C氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「佐渡市新たな学校教育環境整備計画【検討資料】」の3「学校再編の結果分析」は、これまでの学校再編の結果分析なのか、直近の統合した2校の調査結果なのか、もう少し表題ではっきりと示した方が良い。それから4「学校再編の意識分析」は統合ありきに見えるので、全ての選択項目をパーセンテージで表示した方が良い。また6「新たな学校再編の方針」が4つの項目に分けてあるが、「新たな再編による規模」と「新たな再編による配置」を1つにし、3つ目の「地理的条件等で再編困難な学校への新たな対策」との区分けを明らかにするとともに、4つ目の義務教育学校などの取組を3つ目の項目の中に落とし込んでいく方が分かり易いと思う。</li> </ul>
・ 渡邊教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1項目と2項目を一緒にし、4項目を3項目の前に移動し、項目として「義務教育学校の検討」を挙げ、その中で「学校間連携の取組」等を示した方が良いという理解でよいか。</li> </ul>
・ C氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仰るとおり。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 渡邊教育長</li> <li>・ E 氏</li> <li>・ 渡邊教育長</li> <li>・ F 氏</li> <li>・ A 氏</li> <li>・ F 氏</li> <li>・ 坂田課長</li> <li>・ 渡邊教育長</li> <li>・ F 氏</li> <li>・ 渡邊教育長</li> <li>・ D 氏</li> <li>・ 渡邊教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検討させていただく。</li> <li>・ どの再編でもスクールバスによる支援が必要不可欠だと思うので、もう少し具体的な支援策を示した方が良く考える。</li> <li>・ 実際に統合する際には、1年前に教員加配をし、学校間で交流をし、その中で疑問点を洗い出している。通学に関しては、公共交通機関を利用するなど全員が保証されていることをご理解いただきたい。</li> <li>・ 統合が決まれば、何らかの通学支援策が講じられるものと理解している。</li> <li>・ 関川村では5校を1校に統合したが、巡回するバスでは時間がかかりすぎるため、それぞれの谷合に入っていくジャンボタクシーで対応している。</li> <li>・ 通学支援の基準を満たさない児童の中に、相当な距離を通学している児童がいる一方で、スクールバスによる通学で運動量が減った児童も実際にいることについては仕方がないと思う。またスクールバスが統合校の専属で利用される他、他校の課外授業等に利用されているため有効だと思う。質問として、長寿命化改良計画と大規模改造計画との違い、それから統合時期に関係なく実施するのか教えてほしい。</li> <li>・ 長寿命化改良は建物の耐久力を高め、社会的ニーズに対応するために機能の向上を図るもので、使用年度を長めに見ている。大規模改造は機能と性能を保持、回復させるため、屋上の防水や外壁の不具合が発生する前に対応したり、小規模学級やICTなど多様な学習活動、トイレの回収を含め改良していくものである。また実施時期については、学校の老朽度や緊急性などを勘案し、計画を組立てている。また廃校の利活用についても安全性を担保し、社会的ニーズへの対応を図るとともに、皆様とも相談しながら進めていきたいと考える。</li> <li>・ 以前の建物は、40年か50年で大規模改修を行い、あと10年か20年で終わりだったが、途中の20年か25年で長寿命化工事を行うと寿命が延び、同じ50年で大規模改修を入れ、さらに20年か25年延ばすという考え方であり、75年から80年位まで持つようになった。古い順に計画を立てているが、もしこの後、統合により学校として、これ以上使わないとなった場合は改修を行わない。しかし大規模改修計画の中に統合する見込のある学校が存在するが、建物が寿命のため、子ども達の安全を最優先する必要があるので、改修を進めていきたい。</li> <li>・ 加茂小学校は、建て替えでしょうか。</li> <li>・ 校舎が長寿命化改良計画で、体育館は大規模改造計画に含まれている。</li> <li>・ 今後、新たな学校再編の具体例をどのように示していくのか。</li> <li>・ 11月に予定している地域座談会では、「佐渡市新たな学校教育環境整備計画【検討資料】」の他、皆さんが良ければ、学校間連携の話も加え、新たな再編の形についてご意見をいただく場にしていきたい。その後、</li> </ul>
---	--

	最終的にどのような形で計画案を示していくかは今後の課題となるため、次回の懇談会までにご検討いただきたいと思う。
・ F氏	・ 地域座談会では、学校再編の考え方を示していくという理解で良いか。
・ 渡邊教育長	・ 仰るとおりである。
・ B氏	・ 各小学校の児童数を、令和8年度までしか推計していないが、もう少し先まで推計し、座談会などで示せないものか。
・ 渡邊教育長	・ 前回の資料で、人口動態をお示ししたが、時間が経てば新しいものが出て来るので、どこの時点で区切るかということだと思う。個々に入る時にはその時点のデータを持っていきたい。
・ 中川調査員	( 議題3 「地域座談会について」資料を使って説明 )
・ F氏	・ 座談会の配布資料は「佐渡市新たな学校教育環境整備計画【検討資料】」以外にもあるという理解で良いか。
・ 渡邊教育長	・ 【検討資料】が中心となるが、グラフ付きのアンケート結果や徳島県の阿南市の取組事例などを示した学校間連携の資料も加えていきたい。
・ G氏	・ 地域座談会の資料の文章では、学校統合の話が出るのか分からない人が多いと思う。学校ではなく回覧で各家庭に回って来るのであれば余計、自分には関係がないと思って行かない人が多いと思う。
・ 渡邊教育長	・ 統合とか再編とかいう言葉が欲しいという理解で良いか。
・ G氏	・ そういう言葉がないと、回って来ても自分には関係がないと思う人が多い気がするのでお願いしたい。
・ H氏	・ 参加対象者に年齢、性別等の一切の枠を設けず、市民の方ならどなたでも参加できるという形で座談会を行うのかを確認したいのと、告知に関しては、回覧だと町内会に入っていないと回って来ないので、SNSによる周知にも手を回してほしい。それから地域座談会の全会場で、同じ内容の説明になると思うが、参加者にとっては自分の地域の学校に関心が深く、地域毎に質疑が変わってくると思うが、ここにいる教育委員会だけで対応するのか伺いたい。
・ 渡邊教育長	・ 出来るだけ広報の方はしていきたいと思う。座談会では個々の質問を受けるといった形ではなく、ご意見をいただきたいと思っているため、微に入り細に入り全部に応えるということは想定していない。最終的な学校教育環境整備計画案を作成するための座談会と位置づけているので保護者説明会ではなく、ご意見をお聞きする場と捉えている。
・ A氏	・ 保護者アンケートを取っているのですが、その結果についても説明するという一言を入れていただくと、アンケートに関係することなのだなと保護者の

	方々は理解すると思う。
・坂田課長	・どのようなことが不安で、そのための再編計画と説明が出来るような工夫をしたいと思います。
・F氏	・学校で配ることはせず、地域の方への案内だけなのでしょうか。学校や各家庭には配らないのでしょうか。
・坂田課長	・今のところ回覧という形を考えていたので、学校へ直接ということは想定していなかった。
・G氏	・お爺ちゃんやお婆ちゃん、そこの世帯主が見て回してしまう可能性があるため、保護者を集めたいのであれば各学校や保育園に全部回した方が、保護者の意見を聞けるのではないかと思います。
・渡邊教育長	・今回は保護者に限ってというのではなく、広く地域にということなので学校の方にも必要であれば配りたいと思う。学校の方にも配った方が良いでしょう。
・F氏	・地域から広がっていく方が良い気もするし、学校だけに来て広がるというのもどうかという気もする。
・A氏	・保護者送迎の園であれば配らなくても掲示するだけでも良いと思う。
・渡邊教育長	・学校も当事者であり、統合の対象は学校なので、学校に配っておくというのは必要かなと思う。ただ保護者全員に配るというのではなく、地域の方で見ていただきたいと思う。学校の方にはこういう話を地域にしているという案内をしたいと思う。
・坂田課長	( その他「佐渡市附属機関等の会議の公開に関する要綱」、「附属機関等の会議録の公開に係る取扱について(通知)」及び「佐渡市情報公開条例解釈運用基準」資料を使って、9月議会において懇談会参加者の氏名を公表すべきとの意見をいただき、それに対し事務局から同要綱及び同取扱等に基づき非公開の取扱いをしている旨の説明を行った経過などを説明 )
(全会)	( 同要綱、同取扱及び同運用基準に照らし、参加者の氏名を非公開とすることで意見が一致、了承 )
・中川調査員	( 次回懇談会の開催及び今回の懇談会の会議録の公開について連絡 )
・高野課長補佐	( 閉会 )
	(閉会：11時52分)